

児童生徒発表型



埼玉県加須市立騎西小学校
鹿兒島 徹

実践テーマ 身の回りの施設について調べたことを、組み立てを工夫して発表する。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 電子黒板を活用した発表の仕方を学ぶ。
- 〈展開〉 前時までに児童は「ユニバーサルデザイン」の視点を持って、身の回りにある公共施設やそこにある物について調べ、それを一枚の画用紙（8つ切り）に写真や絵・図などを使ってまとめている。それを実物投影機で写し取り、拡大や縮小しながら他の児童に向けて発表する。
- 〈まとめ〉 発表した内容が、相手に伝わっているか確認する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいを説明する。機器の使い方についての説明をする。 電子黒板を活用しての発表の仕方についての説明を、デジタル教科書を使い行う（PC教材）。 発表の工夫について触れ、自分の発表でも取り入れて発表することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●挿絵・音声資料 使用するソフトウェア： デジタル教科書（光村図書出版(株)）
展開	<ul style="list-style-type: none"> 自分で調べてきた内容を説明する。強調したいところを拡大、縮小、ペン書きをして説明する（静止画）。 自分の伝えたい内容が相手に伝わるように、図や表などを効果的に使い、わかりやすく発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童が作成した資料
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 発表した児童が聞き手の児童から質問や意見を受け付ける。 発表した児童は聞き手の児童の質問や意見、感想を聞くことで、自分の思いや主張が、聞き手の児童に伝わっているかどうかを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童が作成した資料



電子黒板にデジタル教科書の挿絵や音声資料を提示



実物投影機で児童が作成した資料を提示



実物投影機で画用紙にまとめた児童の調べ学習を提示

児童の反応・効果

- ・デジタル教科書を使うことにより、児童の集中力が高まった。
- ・小さな紙にまとめたことが、拡大されて提示されることにより、くわしく理解できた。
- ・他の児童の発表を最後まで集中して聞くことができ、自分の意見も対比して発表できた。

活用のポイント

- ・細かい作業は、各自紙の上で行い、発表するときは大きく写し、時には書き込みながら発表することができる。
- ・大きく提示することで、わかりやすい発表を聞くことができ、それを理解し、自分の意見を発表することができる。